

## <研究概要>

本研究では地方議会会議録を用いて、地方政治に対する住民の関心を高め、興味を抱かせる方法について検討する。

地方議会会議録に含まれる情報の特徴である、政治的課題についての対立する意見(賛成意見と反対意見)を抽出して提供することで、地域特有の課題の理解に役立てることを目指している。しかしながら、地域課題の対立意見を提供するシステムというだけでは、利用者に対して興味を抱かせることが困難である。

そこで、情報提示の手段として、面白さを備えた対話システムの構築を試みた。提案するシステムでは、地方議会で議論されている議題を対象として、対立する意見をディベートのように2つのキャラクターに代弁させる。ユーザは双方の意見を聞いて「賛成」「反対」といった簡単な入力を行う。

